

**新公立病院改革プランの点検・評価の概要**  
(令和元年度実績)

団 体 名	南部町							
プ ラ ン の 名 称	南部町病院事業新改革プラン							
策 定 日	平成 29 年		3 月		31 日			
対 象 期 間	平成 29 年度		～		令和 2 年度			
病院の現状	病 院 名	国民健康保険南部町医療センター		現在の経営形態		公営企業法財務適用		
	所 在 地	青森県三戸郡南部町大字下名久井字白山87番地1						
	令和元年度当初の許可病床数 (平成31年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
			26	40				66
	令和元年度中の許可病床数の変更状況 (変更なし)	一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
				26		40	66	
	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
		26	40				66	
	一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること	
			26		40	66		
① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	一次医療圏における急性期医療や慢性期医療に重点を置き、特殊医療の人工透析及び救急医療、在宅・地域医療においても公立病院としての役割を担い、地域住民の健康保持とニーズに対応しながら、健全な病院運営を実施していく。 また、南部町包括ケアの推進を図るうえで、保健・医療・福祉との連携を図っていく。							
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況	南部町では、地域住民による多様な活動の展開を含む、地域のケル保健医療サービス及び福祉サービスを総合的に提供するとともに、多様な職種や機関との連携協働による地域包括ケアシステムを進めている。その中で、医療センターの役割として、隣接している健康福祉課(地域包括支援センターを含む)と密に連携と取り合い、入院・外来患者には、退院後のケアやこれからの生活について、本人・家族・ケアマネージャー・行政間で情報提供等を行い、早期発見、早期対応に努める。必要であれば、訪問看護、訪問医療を実施し、より良い生活となるよう支援していく。						
		③ 一般会計負担の考え方						
総務省より通知される地方公営企業繰出金の基準に基づいて、一般会計から繰出金を支出している。 ①病院の建設改良に要する経費(企業債元利償還金 1/2、2/3) ②不採算地区病院の運営に要する経費(高度・救急・特殊医療機器保守料及びリース料の一部、リハビリ部門の収入を以て充てることができない経費、医師診療手当) ③救急医療の確保に要する経費(空床補償、救急医療体制に要する人件費) ④医師及び看護師等の研究研修に要する経費(研究研修費 1/3) ⑤共済追加費用の負担に要する経費 ⑥医師確保対策に要する経費(パート医師に係る経費の一部、医師修学資金) ⑦児童手当に要する経費 ⑧建設改良に要する経費(医療機器購入 1/2)								

(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	④ 医療機能等指標に係る数値目標	上段(青色セル): 目標、中段: 実績、下段: 達成度							
	1) 医療機能・医療品質に係るもの	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
	救急患者数(人) ※救急車搬送	132	121	135	145	118	129		
					120.8%	98.3%	107.5%	0.0%	
	訪問診療	1,389	1,467	1,415	1,481	1,379	1,326		介護保険算定分
					105.8%	98.5%	94.7%	0.0%	
	訪問看護	205	197	201	203	218	248		介護保険算定分
					106.8%	114.7%	130.5%	0.0%	
	リハビリテーション(件)	11,155	11,268	11,847	10,445	9,786	6,698		
					95.0%	89.0%	60.9%	0.0%	
2) その他	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考	
健康・医療相談件数	-	570	850	1,022	1,076	1,060			
				118.8%	125.1%	123.3%	0.0%		
特定健診受診者数	-	2,085	2,124	2,220	2,230	2,240	2,250		
				95.3%	105.2%	105.0%	0.0%		
⑤ 住民の理解のための取組	住民への周知と理解のため、新改革プランをホームページに掲載する。								
(2) 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標	上段(青色セル): 目標、中段: 実績、下段: 達成度							
	1) ①	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
	経常収支比率(%)	99.6	101.9	108.3	98.9	97.1	98.0		
					98.8%	96.5%	97.4%	0.0%	
	医業収支比率(%)	93.7	94.7	88.6	87.7	85.8	85.4		
					98.8%	96.4%	95.2%	0.0%	
	2) 経費削減に係るもの	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
	材料費対医業収益比率(%)	11.5	12.2	12.3	13.4	13.5	12.9		
					118.6%	125.0%	119.4%	0.0%	
	3) 収入確保に係るもの	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
外来患者数(人)	45,492	45,928	46,265	45,001	41,517	40,557			
				97.7%	94.1%	92.0%	0.0%		
一般病床利用率(%)	93.6	90.7	85.8	89.1	93.6	86.4			
				100.7%	105.8%	97.6%	0.0%		
療養病床利用率(%)	97.9	97.8	92.3	94.7	91.7	92.3			
				104.2%	100.9%	101.5%	0.0%		
4) 経営の安定性に係るもの	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考	
医師数(人)	8.0	8.2	9.0	7.9	8.7	7.7			
				112.9%	124.3%	110.0%	0.0%		

(2) 経営の効率化	② 目標達成に向けた具体的な取組	計画	実績
	民間的経営手法の導入	現在、委託している業務(医事・給食・院内清掃等)については、今後も引き続き業務委託を継続し、民間による経営手法の導入を図り、より効率的な業務委託を推進する	委託している業務は、引き続き業務委託を継続している。他に、民間による経営手法が導入可能であるか検討している。
	事業規模・事業形態の見直し	<p>●人口の推移 平成27年度国勢調査では人口は19,148人である。令和2年9月1日現在の南部町公表の人口は17,658人となっており、5年1,490人減少している。</p> <p>●推計患者数 南部町総合振興計画において、青森県の年齢階級別受療率と国勢調査人口により算定すると、入院患者数は横ばいの264人、外来患者数は 減が見込まれる。</p> <p>●上記の人口及び患者数の推計や近年の病床利用率、外来患者数から、現在の病床規模・機能を維持できるものと推測される</p>	病床利用率は、一般病棟86.4%(7.2%減)、療養病棟92.1%(0.4%増)となり、一般病棟利用率現象が入院収益の減少につながっている。外来延患者数は、40,557人(960人減)となっており、人口減少の影響だけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響により、外来収益の減少につながっていると考えられるため、感染症対策及び接遇や対応力、また医師確保に努め、患者数の増加に努めていく。
	経費削減・抑制対策	<p>●材料費の抑制 薬品については、できるだけジェネリック医薬品の使用に努め、使用効率の向上と在庫量の適正化に努める。 診療材料については、同等品についての情報収集により廉価購入に努める。</p> <p>●消耗品費の削減 消耗品の購入に際して、同等品の廉価購入に努める。</p> <p>●医療機器保守点検の削減 医療機器の日常の点検・清掃は担当する技師等で行うなど、年間保守点検業務委託料の削減と医療機器の使用期間の延長に努める。</p>	材料費について、入院及び外来延患者数が減少していることから、経費の減少となった。薬品・診療材料については、納入業者に確認しながら、同等品でより安価な物品を精査し採用するように努めた。また材料費の抑制は、病院事業運営にも大きな影響があるため、より一層の経費節減に努める。医療機器保守点検については、スポット点検に切り替えるなど経費節減に努めた。技師や一部保険でカバーする等、引き続き経費節減に努めるよう検討中である。
	収入増加・確保対策	<p>●施設基準を満たす体制維持、及び新たな施設基準への対応強化による診療報酬の確保 改訂された新設基準を満たすための体制整備と、新たに取得できる可能性のある施設基準の掘り起こしとその対応を行う事による診療報酬点数の確保を図る。(平成28年度「認知症ケア加算」を新たに取得)</p> <p>●町健康福祉部門と連携による業務委託隣接してある健康福祉課との連携による健康診査業務等を委託し実施。</p>	健康・医療相談件数の増加、また、地域施設・健康福祉課と病院の地域医療連携室が、密に連携したことにより、療養病床率の向上につながった。引き続き、病床率向上に努め、入院収益の努めたい。また、新たな加算基準の確認をし、診療報酬の確保取得ができるよう努めていく。
(3) 再編・ネットワーク化	再編・ネットワーク化に向けた取組	令和7年度末までに、地域医療構想で示された下記の機能分化・連携の方向性に基づき、毎年圏域ごとに開催される地域医療構想調整会議等を活用しながら、圏域内の機能分化・連携について検討していくとともに、再編・ネットワーク化の必要性についても検討する。 (八戸市立市民病院) ①充実した医療の提供を目指した病院を中心とした青森労災病院・八戸赤十字病院との機能分化・連携の推進 ②圏域内自治体病院等への支援 (その他の自治体病院等) ①病床規模の縮小・診療所化 ②回復期・慢性期への機能分化 ③中核病院との連携体制の構築 ④在宅医療の提供 ⑤へき地医療拠点病院(三戸中央病院)中心とした効率的なへき地等医療提供体制の整備	
(4) 経営形態の見直し	経営形態の見直しに向けた取組	改革プランで公営企業法全部適用について、町及び病院で協議・検討をしているが、全部適用に至っていない。今後の経営状況に応じて全部適用の可否を、再度検討する。	
総合評価		医療機能等の指標や経営指標が、目標を下回る項目があり、特に経常収支比率と医業収支比率については、病院事業の運営の重要な位置づけとされている項目であるため、改善を図ります。そのために、目標を達成できなかった項目の改善を最重要事項と定め、本計画に掲載していない収入増加・支出削減についても一層努めていきます。令和元年度の計画について、おおむね計画どおりに実施されました。	



2. 収支計画(資本的収支)

年度 区分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R1年度	R1年度	R2年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画A)	(実績B)	(差B-A)	(計画)
収	1. 企業債	0	2,700	17,000	15,600	17,300	78,800	61,500	156,100
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	13,167	10,820	13,151	20,380	43,668	41,865	▲ 1,803	40,548
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	1,398	2,700	6,660	2,700	0	▲ 2,700	47,150
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
入	収入計 (a)	13,167	14,918	32,851	42,640	63,668	120,665	56,997	243,798
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借 入 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-(b)+(c) (A)	13,167	14,918	32,851	42,640	63,668	120,665	56,997	243,798
支	1. 建設改良費	740	4,196	18,320	25,840	20,000	84,921	64,921	200,722
	2. 企業債償還金	14,312	11,391	11,795	23,642	73,851	66,646	▲ 7,205	70,456
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	3,600	5,400	5,400	1,800	5,400	1,800	▲ 3,600	3,600
出	支出計 (B)	18,652	20,987	35,515	51,282	99,251	153,367	54,116	274,778
	差引不足額 (B)-(A) (C)	5,485	6,069	2,664	8,642	35,583	32,702	▲ 2,881	30,980
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	5,485	6,069	2,664	8,642	35,583	32,702	▲ 2,881	30,980
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
補 て ん 財 源 不 足 額	計 (D)	5,485	6,069	2,664	8,642	35,583	32,702	▲ 2,881	30,980
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0	0	0

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R1年度	R1年度	R2年度
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画A)	(実績B)	(差B-A)	(計画)
収益的収支	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)
	112,930	232,309	136,718	139,009	130,623	152,135	21,512	154,370
資本的収支	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)
	13,167	10,820	13,151	20,380	43,668	41,865	▲ 1,803	40,548
合 計	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)
	126,097	243,129	149,869	159,389	174,291	194,000	19,709	194,918

(注)

- 1 ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。